

ハンドマイク原稿例

6. 18土曜日 埼玉県委員会

こんにちは 日本共産党の梅村さえこ事務所です。この場所をお借りして、お話させて頂きます。みなさん。7月10日公示の参院選挙はこれからの日本の前途を決める大事な選挙です。あなたの投票で政治を変えていきましょう。

みなさん、暮らしはいかがでしょうか。食料品やガス代など物価高で家計はますます火の車です。物価が高騰しているのに、年金は0.4%下げられました。こんな冷たい国はありません。日本共産党はこの物価高に誰もが助かる「消費税の減税法案」を国会に提出しました。世界ではもう89カ国が消費税を下げています。30年以上、「消費税をなくす会」で頑張ってきた梅村さえこさんを国会に送り、消費税を5%に引き下げましょう。

みなさん。日本は20年間給料が上がらない国になっています。人を使い捨てにするアベノミクスが非正規雇用を増やしたからです。最低賃金、世界は1500円以上が当たり前ですが、埼玉県は未だに956円です。女性の4割は非正規雇用です。日本共産党は、「大企業の内部留保に課税」した財源で、中小企業を支援し、最低時給を1500円にします。「男女の賃金格差の是正。働くのは正社員が当たり前。8時間働けば普通に暮らせる社会」に変えようではありませんか。みなさん。日本の少子化が止まらないのは教育費の負担が重いからです。ヨーロッパでは学費は無料か低額が普通です。教育費を増やし、世界一高い日本の学費を半分にします。返済の必要ない給付制奨学金を増やします。だれもが安心して学び働ける日本に変えていきます。

みなさん ウクライナ危機で、食糧を外国に頼っている日本の弱さがハッキリ出ました。日本共産党は食糧の自給率を今の37%から50%に増やすため家族農業の所得を補償します。

また、世界が脱炭素社会をめざしているのに、日本は火力発電所を建設し、老朽原発まで再稼働しようとしています。日本共産党は太陽光や小水力など、再生可能エネルギーに力を入れ、火力発電の段階的廃止、原発即時ゼロで持続可能な青い地球を未来の世代に手渡します。

みなさん。消費税の減税、雇用の改善、原発ゼロなど、どれをとっても、財界から献金を受けず、きっぱり対決できる共産党だからできます。働く人、弱い立場の方にはしっかり寄り添う日本共産党を伸ばしてください。

みなさん。ロシアの侵略から4カ月。「ロシアは国連憲章を守れ」と声を上げ、一日も早く戦争を終らせましょう。このウクライナ危機に便乗して、「軍事費を2倍にし、敵基地先制攻撃、核兵器を持つ」となどと主張しているのが自民党、維新の会などです。しかし、「力には力を」では、限らない悪循環を招くだけです。万が一、敵基地先制攻撃などすれば、報復されるリスクが高まります。こんな無責任な話はありません。軍事費を二倍にすれば、財源は、教育や福祉の予算を減らすか、消費税をさらに上げるかです。この選挙で軍事費を2倍にしようという政党にノーの審判を下しましょう。

みなさん。日本は悲惨な戦争体験から、戦争放棄した憲法9条を持つ国です。攻められたらどうする、ではなく攻められない外交こそ政治の役割です。アメリカ一辺倒ではなく、アジアの国々と信頼を深める外交に徹するべきではないでしょうか。

今度の参院選挙は「軍事費を増やして戦争する国」か「憲法9条を活かした平和外交に徹する国か」が問われます。党を作って百年。命がけで戦争反対を貫いてきた日本共産党を伸ばして下さい。比例代表は日本共産党を、選挙区は梅村さえこにご支援をお願いします。以上で訴えを終わります。ご協力ありがとうございます。